

1 はじめに

宮地小学校の福祉教育の目標は、「共に生きる喜びや人とふれあう喜びを通して、人を大切にし自分にできることを見つけて実践する。」ことです。4年生では、高齢者の方と触れ合う活動を行っています。交流のめあては、「高齢者の方のことをよく知って、笑顔、やさしさといった交流ができるようにしよう。」です。「清流の里みやじ」の利用者の方との交流でふれあう喜びをみつけ、自分から利用者の方とう関わればよいのか考え実践してきました。

2 活動事例 宮地小4年福祉の実践

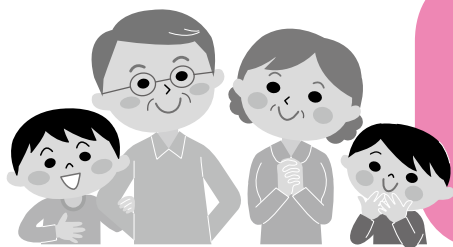
(1) デイサービスセンター「清流の里みやじ」への訪問

「清流の里みやじ」へは、年間で4回訪問し、利用者の方の生活について見たり、どんな設備があるのか確かめたりしました。歌やリコーダーを披露したり、「ジャンケン首飾りゲーム」などのゲーム交流をしたりしました。ゲーム交流では、みんなが笑顔になることができました。そのほか、絵合わせカルタもしました。

また、節分集会にも参加しました。自分の退治したい鬼を一人一人が発表してから、鬼の的当てゲームをしました。どの訪問も、いっしょに楽しむことができました。



鬼の的当てゲーム



池田町立 福祉活動 宮地小学校

～福祉協力校の活動紹介～

(2) 高齢者疑似体験 町福祉協議会出前講座

「高齢者の方が、身体を動かす苦労について体験して知ろう。」ということをめあてに疑似体験をしました。腰が曲がってくると歩くことが、大変だったりと、視野が狭く手先が自由に使えないと折り紙を折ったりする作業も大変だとわかりました。



手先を使うことの疑似体験



歩くことの疑似体験

(3) 認知症サポート養成講座

認知症の方には、どのようにサポートをしたらよいのか、役割演技をして考えました。認知症の方は、気になったことを何度もくり返して話されます。相手の方の不安な気持ちをやさしい気持ちで何度も聞くことが大切だということが分かりました。



認知症サポート養成講座

3 終わりに

これらの活動を通して、子ども達は次のことを学びました。一つ目は、おじいさん、おばあさんといっしょにいると自分がやさしくなれることや思いやり優しさで接するとみんなが笑顔になれることです。二つ目には、高齢者の疑似体験をして、高齢者の方の毎日の生活の大変さがわかったことです。「清流の里みやじ」の方が、いつも元気にはつらつと生活していらつた様子を見て4年生も、たくさんの方の元気をいただき今まで以上にはつらつとした生活を送っています。